



《将来に向けた取組方針》

シオノギは、医薬品の研究開発、生産、販売等すべての事業活動において生態系の恩恵を受けており、世界人口の増加や経済発展を背景に、資源・エネルギーの消費による気候変動や水資源不足など自然環境への影響は喫緊の課題と認識しています。シオノギは、「常に人々の健康を守るために必要な最もよい薬を提供する」という基本方針のもと、気候変動・資源循環対策を含めた目標を策定し、サプライヤーも含め、生物多様性保全を推進し持続可能な社会の実現に取り組んでいきます。また、長年に渡り抗菌剤を開発・製造・販売しており、AMR (Antimicrobial Resistance: 薬剤耐性) については適正使用だけでなく、製造過程における環境への影響の軽減にも取り組んでいきます。

《具体的取組み事例》

● AMR

AMRはグローバルな脅威であり、耐性菌による感染症患者に対しては生命に危険を及ぼし、社会に対しては直接的・間接的に深刻な損失をもたらす可能性を有しています。シオノギは、2016年1月の世界経済フォーラムにおいてダボス共同宣言に署名し「世界を感染症の脅威から守る」ために、未だ治療法が確立していない新興・再興感染症に対する新薬を生み出し、同時に感染症薬の適正使用を推進することにより、新たな耐性菌・耐性ウイルスの発生を防ぎ、患者さまが現在のみならず未来も治療を受け続けられるように、継続的に取り組んでいます。

● 植物園を通じた教育支援

2014年より、次世代を担う子供たちの学習を支援する取り組みとして、産官学で連携し地域社会の教育支援を行っています。



《今後の課題》

気候変動は、地球規模で経済と社会システムに壊滅的な影響を及ぼすのみならず、地球温暖化、異常気象により生物多様性にも影響を与える可能性があります。気候変動の影響を緩和するため、再生可能エネルギーの導入に取り組むとともに、サプライヤーを含めたライフサイクルを通じた温室効果ガスの削減に取り組む必要があります。

《キャッチフレーズ》 「人々の健康を守るために、地球の健康も守る」

